

ALL 東邦情報

学生活動や教育・研究活動など、
新鮮な話題・情報をさまざまな角度から取材し、
東邦大学の“いま”をお伝えしていきます。

医学部・薬学部・看護学部 実用医療英語を実施

▶ 岸 太一

グローバル化や医療ツーリズムの影響により、近年、日本語を母語としない患者の診療機会が増えています。そのような患者への対応能力を身につけることを目的として、本年度も実用医療英語を開講しました。

この科目では、在日外国人の医療事情や医療に対する考えを理解することを重視した授業を展開してきましたが、今年も同様の趣旨のもと、英語によるコミュニケーションスキルの向上を目指しました。また、在留外国人との面談演習の際に、英語スキルの貧困さから、英語に堪能な学生に面談の進行を任せてしまう学生に対して、積極的・能動的にコミュニケーションをとるように働きかけました。さらに、今回は面談演習時の外国人面談者を増やすことができたので、グループあたりの人数が減り、個々の学生

のコミュニケーション量が増えました。

「医療」の実践において、患者やその家族等の心理・社会的背景を理解し、尊重することが求められることは言うまでもありません。そして、それらを理解するためには、相手に話してもらう必要があります。学生は、自分たちとは異なる社会的・文化的背景を持つ外国人の方々を理解し、自分の思いや考えを伝えることに一生懸命に取り組む様子が見られました。この経験が卒業後のそれぞれのキャリアで生かされることを願っています。

【実施日】

5月13日・20日、6月3日・17日(各土曜日)
1日4コマ(10:30~12:30 13:30~15:30)

(医・教育開発室・講師)

